HALUパネル工法



HALUパネル工法

概要

HALUパネル工法は、Hang(吊る) And Link(連結) Unite(一体化する)の頭文字から取ったパネル式の 切土補強土壁工法である。表面材としてHALUパネルを使用し、地山に造成した補強材を頭部定着材で連結 することにより、一体化した補強土壁を構築し切土法面の安定化を図る。

Hang 吊る And Link 連結 Unite 一体化



特長

- 品質管理の行き届いた工場製品で、しかも施工が 容易なため、現場の省力化・工期短縮が図れる。
- ② 逆巻き施工で1段ごとに補強土壁を完成させるため、施工時の安定性が確保できる。
- 3 急勾配の切土が可能なため、用地や掘削土量および 斜面に生息する樹木の伐採が最小限に抑えられ、 工費縮減が可能で環境や景観に与える影響も少 ない。
- ④ 背面注入材を定着材と同じ配合にしており、注入 材の相互利用や連続した注入作業が可能で合理性 が高い。
- 5 上段のパネルに引っ掛ける構造のため、千鳥配置 が可能である。
- 6 不陸が大きい設置面にも対応が可能である。
- → HALUパネル表面は自然に溶け込む擬岩模様を採用し、景観に配慮している。

許容荷重

HALUパネル工法に使用する芯材の最大諸元は表1を想定し、HALUパネルの許容荷重は、芯材の最大許容荷重より表2の通りとする。補強材の引張り力の低減係数 λ =0.7とする。

表1 芯材の最大諸元

呼び径	材質	断面積 (mm²)	許容引張応力 (kN/mm²)		許容荷重(Tsa) (kN/本)	
			常時	地震時	常時	地震時
D29	SD345	642.4	200	300	128.5	192.7

表2 HALUパネルの許容荷重

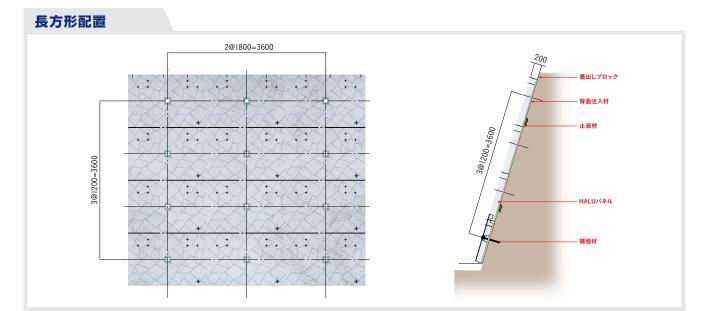
常時荷重	一時荷重		
(Td)	(1.5Td)		
90kN/本	135kN/本		

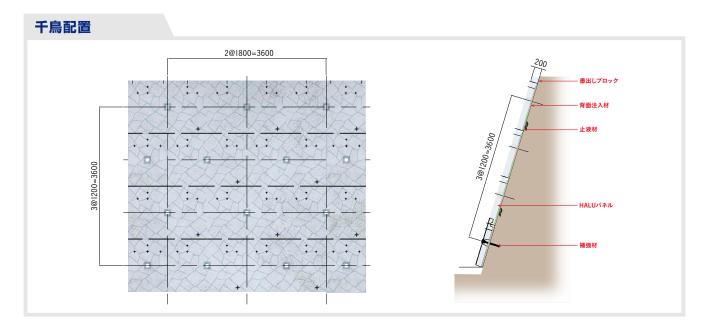
※常時荷重(Td)=Tsa×λ(0.7)

HALU パネルの配置例

長方形配置を基本的な配置とするが、千鳥配置も可能である。

※のり面工の制約を受けない場合には、千鳥に配置するのが望ましい。 「切土補強土工法設計・施工要領」(平成19年1月 NEXCO中央研究所)



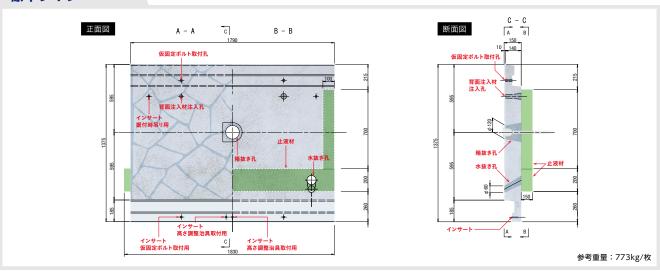


HALUパネル および墨出しブロック

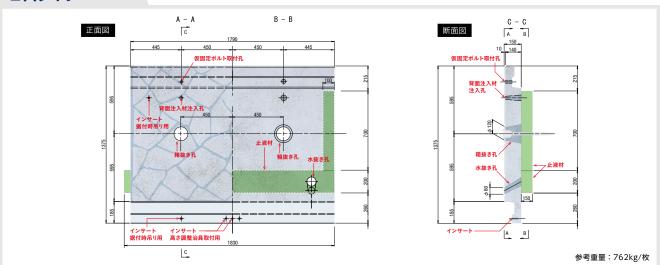
※インサートは全てM16

HALU パネル ※下側引っ掛け構造の無い、最下段用も準備しております。

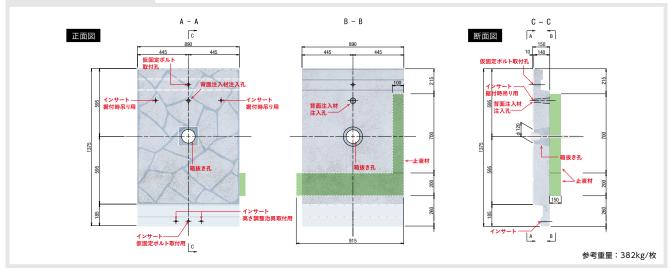
標準タイプ



2穴タイプ

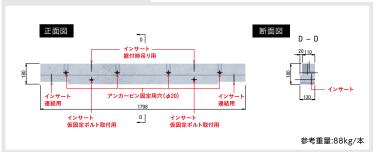


ハーフタイプ

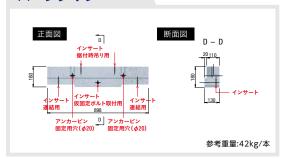


墨出しブロック

標準タイプ



ハーフタイプ





標準タイプ



標準タイプ最下段用



2穴タイプ



2穴タイプ最下段用



ハーフタイプ





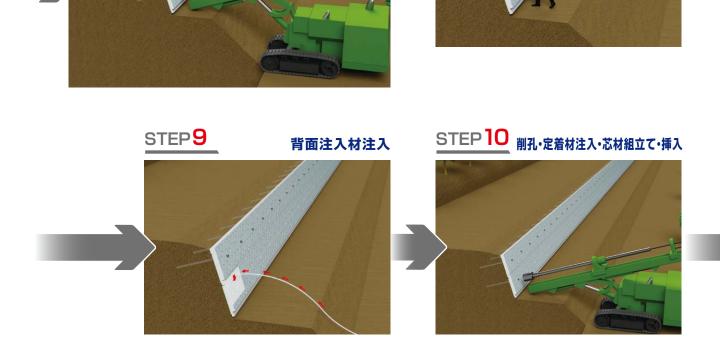
墨出しブロック

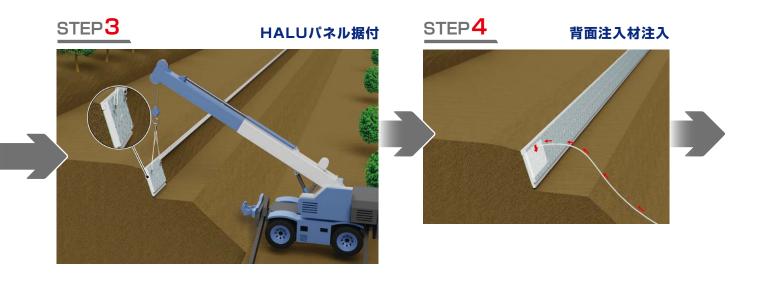


墨出しブロックハーフタイプ

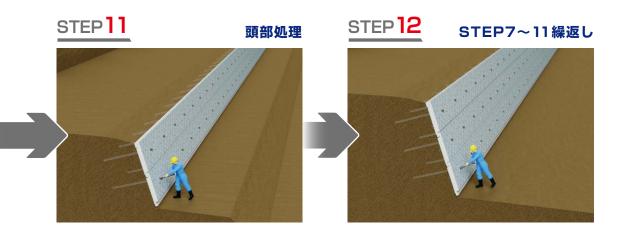
HALUパネル工法の施工手順







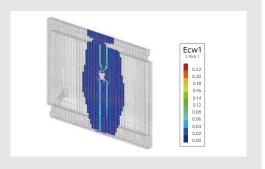




HALUパネルの強度検討

FEM解析を実施し、所定の強度を有していることを確認 しております。

また、HALUパネルの許容荷重で全面載荷試験を実施し、 一時荷重載荷後においても有害な変化がないことを確認 しております。





載荷試験状況







ISO9001 認証取得

ISO14001認証取得 環境認証範囲は山口工場と本社部門

営業本部 環境防災部 〒163-1342 東京都新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー42階 TEL(03)5321-6515 FAX(03)5321-6519

- 当社の詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 https://www.se-corp.com
- ●部品等の仕様(形状・寸法)は予告なく変更することがございます。

株式会社エスイー



エスイーの製品がオンラインでご注文いただけます。 お見積書の発行にも対応!ぜひご利用ください。

※ご利用には会員登録が必要となります。

詳しくはこちらから https://senetshop.com



(2023.06) 003